

第5回調査分析部会 議事要旨

1. 日時：平成25年8月9日（金） 15：00－17：00

2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室

3. 出席者

(1) 委員

中須賀部会長、青木部会長代理、秋山委員、五百木委員、橋本委員、渡邊委員

(2) 事務局

西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官、森宇宙戦略室参事官、深井宇宙戦略室参事官、頓宮宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) 韓国の宇宙政策等について

JAXA、SJACから資料1、2に基づいてヒアリングを行った。

主なヒアリング内容は下記の通り。

- 今年の3月に政府組織の改編が行われ、韓国航空宇宙研究所（KARI）は、新設された未来創造科学部の傘下となった。
- 韓国において、地球観測を主なミッションとする多目的衛星「KOMPSAT」及び通信・海洋・気象衛星「COMS」の開発・運用並びに独自のロケットの開発に重点が置かれている。
- 最近の話題として、未来創造科学部が「宇宙開発中期計画案」及び「宇宙技術産業化育成対策案」に関する公聴会を今年の7月に開催した。今回策定される「宇宙開発中期計画」では、2011年に策定された「第2次宇宙開発振興基本計画」（2012年～2016年）を修正・補完するとともに、2040年までの宇宙開発のための将来ビジョンと開発目標を示すことを基本方針としている。
- 韓国を代表する航空宇宙メーカーである韓国航空宇宙産業（株）（KAI）は、アジア通貨危機後の1999年に、韓国内の航空産業の競争力向上のため、韓国政府の働きかけにより、3大グループ（大宇、三星、現代）の航空宇宙部門が合併して設立された。
- 小型衛星メーカーのベンチャー企業であるSatrec Initiative社（SI）は、衛星システムから地上局、画像処理、訓練、コンサルタントを行うトータルソリューションプロバイダとしてのビジネスモデルで成功している。

(2) その他

委員の調査分析レポートのテーマとして、新興国、インフラ輸出、小型衛星、米国の宇宙政策史に関するものが委員から提示された。

以上